

三郷出張所だより

出張所だよりは江戸川河川事務所のホームページ
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>)に掲載しています。

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
三郷出張所 発行
電話 048(952)7015
2018年1月【第46号】

工事進捗状況報告!! (平成30年1月26日現在)

三郷出張所管内(江戸川・中川・三郷放水路)では、現在6件の工事が施工中です。そのうち、以下の工事につきまして工事の進捗状況を報告させていただきます。

〔 H28戸ヶ崎地区低水護岸工事 〕

今回の工事では、中川左岸21.4km付近〔三郷市戸ヶ崎地先〕において、**高さ不足となっている現況堤防(暫定堤防)**を、正規の高さまで堤防整備をするのに先立ち、**盛土工事が可能となる河川敷(平場部分)**を確保するための**低水護岸整備**を行っています。

※下流側から上流側を望む



※上流側から下流側を望む



新しく河川敷(平場部分)を確保するため、中川に鋼矢板を打設し、矢板内側の水面だったところに砕石を敷均しました。この後、低水護岸としての施設整備を行うとともに、砕石上部には盛土を実施して工事が完成します。

〔 H29江戸川管内CCTV設備工事 〕

今回の工事では、江戸川河川事務所管内に設置されている**河川管理用CCTVカメラ**のうち、**4台の更新作業**を行います。三郷出張所管内ではこのうち、中川左岸22.4km付近の「弁天排水樋管」に取り付けられているCCTVカメラを更新します。さらに、CCTVカメラで撮影した映像をリアルタイムで配信する**IP伝送装置の更新作業**も行います。



「弁天排水樋管」でのCCTVカメラの更新作業状況。
※照明灯右下のポール上にカメラが設置されていました。



ポール上から取り外され、堤防天端上に仮置きされた更新前のCCTVカメラ。(写真中央)

「三郷市」の沿革について【「三郷」の名の由来とは？】

「三郷市」の沿革を簡単に示しますと、1889年（明治22年）4月1日の町村制公布により、それまで51あった村が合併し、「彦成村」、「早稲田村」、「戸ヶ崎村」、「八木郷村」の4か村となりました。その後、1943年（昭和18年）7月1日、戸ヶ崎村と八木郷村が合併して「東和村」となりました。そして、1956年（昭和31年）9月30日、東和村、彦成村、早稲田村の3か村が合併して、三郷市の前身となる『三郷村』が誕生しました。

この時名付けられた『三郷』という名は、

- ・ 東和村、彦成村、早稲田村の三つの村が合併した . . . 『三』の字
- ・ 江戸川と中川に挟まれた三郷市・吉川市の地域は、
古くは二郷半領と呼ばれていた . . . 『郷』の字

以上の組み合わせにより『三郷』と名付けられました。

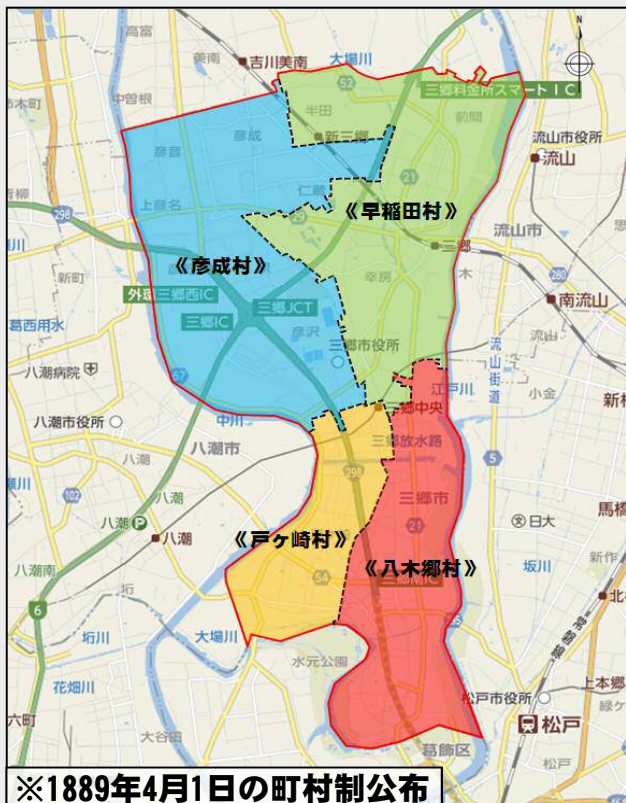
さらに、1964年（昭和39年）10月1日、町制施行により「三郷村」が「三郷町」に改称され、そして、1972年（昭和47年）5月3日の市制施行により、「三郷町」から現在の「三郷市」に改称されました。

三郷市がこのように、「村」から「町」へ、そして「町」から「市」へと発展を続けてゆく中で、

- ①国鉄（現JR）武蔵野線・三郷駅開業（昭和48年）
- ②住宅公団三郷団地（現UR都市機構みさと団地）造成（昭和48年）
- ③常磐高速自動車道開通（昭和56年）
- ④東京外かく環状道路開通（平成4年）
- ⑤つくばエクスプレス・三郷中央駅開業（平成17年）

以上のような大型プロジェクトが次々と完成するとともに、三郷市の人口も右肩上がりに増加し、平成29年にはついに14万人を超えるまでになりました。

これからも、「三郷市」の魅力がさらに増してゆくとともに、新しく移り住んできた方が、末永く安心して暮らしてゆける「三郷市」であり続けてほしいものです。



約83年後



☆ あ と が き ☆

前回の「三郷出張所だより」のあとがきで、『出来ればこの冬「大雪」が降らないようにと、切に願う今日この頃です。』と書かせていただいたところ、平成30年1月22日、4年ぶりとなる大雪が関東地方で観測され、三郷市内でも、20cm程度の積雪が見受けられました。

ここ数年、暖冬傾向だったような気もしますが、一面の銀世界を目の当たりにして、『冬』という季節を、雪景色と肌寒さで直に感じる事が出来ました。出来れば、今回の積雪以上の雪は、降ってほしくないと思っただけです。

江戸川河川事務所
携帯版ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/m/index.htm>

